

日 時：2010年2月20日（土）13：00～15：00

会 場：葉業年金会館

出席者：大谷G、岡部GN、岩田PG、
地区社会奉仕委員会委員、
クラブ社会奉仕委員長、
児童養護施設 大阪市立「入船寮」城村様
合 計：69名

社会奉仕委員会
委員長

片山 勉
(大阪東RC)

今年度第2回クラブ社会奉仕委員長会議が2月20日に葉業年金会館にて69名のもと開催されました。

まず大谷ガバナーより全クラブの公式訪問を終えて、各クラブの積極的な社会奉仕活動について総括的なお話がありました。

続いて、委員長より下記報告がありました。

- ①「ハイチ大地震義援金」への各RCの理解と協力への謝辞。
- ②今年度地区補助金受付け終了報告及び次年度申請についての注意事項の説明。
- ③献血用バンダナの使用申込み（現在ガバナー事務所に900枚在庫あり）についての説明。
- ④過年度クラブ社会奉仕活動事例集（昨年11月に各クラブ宛に2冊ずつ配送済）の活用依頼。
・参加する、参加したくなる奉仕活動の事例紹介。
- ⑤スペシャル・オリムピックス（本年11月5日～7日に大阪で開催される知的障害者を対象とした国際的なスポーツ組織）の紹介。
…地区として推奨するものではないが、認知度を高め、クラブの卓話の題材にもなる為。

次に児童養護施設 大阪市立「入船寮」城村様より「錨を降ろす港のない子供達」の演題による講演がありました。内容は奉仕を受ける側のニーズとして「物質的援助」も重要ではあるが、「心と心のふれ合い」が求められていることを具体例をあげて話されました。

休憩をはさみ、IM組毎にわかれ「子供達の未来のために」をテーマにバズセッションが行われ、積極的な意見交換があり、テーブル毎の意見を集約し地区社会奉仕副委員長三名から報告しました。

- ・単年度か 継続か？
- ・年間予算額
- ・IM単位で共通の活動が出来ないか？現在、クラブ単独で同じ団体に活動しているが、これを合同で出来ないか？
- ・子供達よりもっと切実に援助を必要としている事例について、等。

最後に岩田PGによる本日の委員長会議の講評と謝意で締め括られました。

